



かみさま せかいのたから
悪石島の “伝統” は、“文化遺産” へ



祝！！ユネスコ無形世界文化遺産登録決定！！



- ①11/28 深夜まで登録を待ちわびる関係者たち
- ②登録決定の瞬間、万歳で祝う
- ③各島でのPVの様子
- ④懸垂幕が掲げられました

ユネスコ政府間委員会の模様を大型スクリーンで写し、パブリックビューイングを開いて見守りました。審議は、翌日の29日に持ち越され、悪石島保存会長や同島住民・出身者、テレビ会議参加者（視聴者）、職員等その他関係者の総勢約170名が見守る中、文化遺産の登録に決定される瞬間を迎え、万歳やくす玉割りで登録を祝いました。

「悪石島のボゼ」など鹿児島県内の3件を含む8県10件の伝統行事からなる「来訪神：仮面・仮装の神々」が、11月29日にユネスコの無形文化遺産に登録されました。

本村では、28日夜から会議室において、各島をテレビ会議でつなぎ、インド洋の島国モリシヤスの首都ポートルイスで登録審査されている

広報としま12

悪石島の“伝統”は
“文化遺産”へ

…詳細は P3 から

悪石島のボゼがユネスコ無形文化遺産に登録されました。遠い昔から悪石島の住民の方々が純直に守り抜いてきた伝統が世界に認められることとなり、十島村の歴史に残る大きな出来事となりました。その他にも、フェリーとしま2就航記念第3回文化の祭典セブンアイランド2018、第12回トカラ列島島めぐりマラソン大会等様々な行事が開催され、十島村では、平成最後の冬を彩り豊かに迎えることができました。

編集／発行：十島村役場 総務課 広報係
〒892-0822 鹿児島市泉町 14-15
tel:099-222-2101
よろしければ皆さんのご意見・ご感想をお聞かせください。

もくじ

- P03~04 — ユネスコ無形文化遺産登録決定
- P05 ~ 06 — 文化の祭典セブンアイランド 2018
- P07 — 第10回トカラふるさと会
- P08 ~ 09 — 第12回マラソン大会
- P10 — アイランダー 2018、十島村
地方創生効果検証検討委員会
- P11 — 味わいフェスタ、冷凍コンテナ寄贈
- P12 ~ P13 — 認知症コラム Vol.2
- P14 — 各種委員会、本庁在り方検討会
- P15 — 各島避難訓練、現地指導会
- P16 — 各種会議等
- P17 — 日本年金機構からのお知らせ
- P18 ~ 20 — 各種補助金関係、名瀬2泊便
- P21 ~ 22 — たいらっこ園、十島っ子の様子
- P23 — 人事関係

表紙：文化遺産登録決定後のくす玉割りの様子、ボゼ
11月29日（木）16:42、悪石島ボゼの文化遺産登録が決定しました。28日の夜に登録が見込まれていましたが翌日に繰り越され、登録の瞬間、関係者は歓喜に沸きました。

平成30年12月 子牛せり市価格表

12月12日 開催		(税抜価格、単位：円)								
		出荷頭数			合計金額			平均価格		
		去勢	雌	計	去勢	雌	計	去勢	雌	計
12月		23	25	48	16,666,000	16,222,000	32,888,000	724,609	648,880	685,167
11月		11	23	34	8,017,000	13,766,000	21,783,000	728,818	598,522	640,676
前月比		12	2	14	8,649,000	2,456,000	11,105,000	-4,209	50,358	44,491

		氏 名	価 格	体 重	日 令	父	母の父
最高価格者	去勢	宝島 平田 伊佐美	929,000	324	299	喜亀忠	かりな
	雌	口之島 山之上 淳一	883,000	299	272	喜亀忠	かえで2



「フェリーとしま2」就航記念 第3回文化の祭典セブンアイランド2018（村民文化祭）

11月3日（土）に鹿児島市内のジェイドガーデンパレスにて「フェリーとしま2」就航記念第3回文化の祭典セブンアイランド2018（村民文化祭）を開催しました。

当日の会場には、島民（出演者、参加者含む）、来場者を合わせて約400名の方々に参加していただきました。

各島から伝統行事を披

プログラム		
	演目	島
1	スチールドラム	宝島
2	御岳太鼓	中之島
3	八月踊り	諏訪之瀬島
4	福德神	平島
	フェリーとしま2 建造記録上映	
5	盆踊り（ボゼ祭り）	悪石島
6	としま今昔	小宝島
7	盆踊り、狂言	口之島



▲フェリーとしま2の建造記録や歴代のフェリーの姿、当時の島民の暮らしなどを上映しました。

露していたが、十島村に住んでいる方でも初めて見る演目などもあり、一度で7島の伝統行事を見ることができた貴重な祭典となりました。どの演目も素晴らしいものでありこれからも長く引き継がれて欲しいものです。

この祭典を通して

（事務局）



Program① 宝島：スチールドラム

村民文化祭の幕開けを飾った宝島のスチールドラム演奏。演奏は、大人の部と子どもの部があり、様々なイベントで活躍しています。独特の音色を奏で、カリブ海の響きそのものです。文化祭当日も多くの来場者を魅了しました。

「悪石島のボゼ」とは？

悪石島のボゼは、鹿児島県十島村の悪石島に伝承される、季節の節目に行われる行事である。毎年、盆の最終日となる旧暦7月16日に、ボゼと称する神が現れ、地域と人びとの邪気を追い祓う。

ボゼには、3名程の若者たちが扮する。赤土と墨を塗りつけた異様な仮面を被り、体にはビロウの葉を巻き付け、手足にはシュロ皮やツグの葉を



当てがう。手には、それぞれボゼマラと称する男根を模した長い杖を持つ。当日の夕方、ボゼは呼び太鼓の音に導かれ、盆踊りで人びとが集まる広場に現れる。ボゼは、ボゼマラの先端に付けた赤い泥を擦り付けようと、観衆を追い回す。この泥を付けられると、悪魔祓いの利益があるとされ、特に女性は子宝に恵まれるという。騒ぎがしばらく続いたのち、太鼓の音がゆったりとしたリズムに変わると、ボゼは体を揺るようにして踊りはじめ、再度急変の調子で再び暴れだし、その場を去っていく。

この行事は、夏・秋の節目に当たって神が訪れ、地域とその人びとの災厄を祓うとともに、幸いをもたらすといった行事である。類似の行事は南西諸島に分布するが、なかでも悪石島のボゼは、我が国の民間信仰や神観念の形態をよく示しており、トカラ列島における来訪神行事の典型例として重要である。



▲悪石島保存会長 有川 和則氏
普通に続けてきたことが世界に認められ、自信と誇りが持てた。今後も引き続き、しっかりと伝えていきたい。

今回の無形文化遺産登録は、十島村の知名度アップや観光振興、地域の活性化等に繋がるものであり、単に悪石島だけの行事と捉えるのではなく、世界に残すべき行事として認められたことの意義を地元と共有し、その保存継承をしっかりと支援していきたい。



▲肥後正司村長

ユネスコ無形文化遺産登録までの経緯

- 平成28年3月 「甕島のトシドン」を拡張し、「男鹿のナマハゲ」を含む国指定重要無形民俗文化財を「来訪神：仮面・仮装の神々」としてグループ化して提案。
- 平成28年6月 無形文化遺産の登録がない国の審査を優先するという国際ルールに基づき、登録件数が世界第2位である我が国の審査が1年先送りされることとなる。
- 平成29年3月 「来訪神：仮面・仮装の神々」を再提案。
- 平成30年10月 「来訪神：仮面・仮装の神々」について評価機関より「記載」の勧告。
- 平成30年11月 第13回政府間委員会（ポルトリス・モーリシャス）において「来訪神：仮面・仮装の神々」について「記載」の決議。（現地時間：11月29日）

第10回トカラふるさと会（総会・懇親会）が開催されました！



4	3	2
5	1	
6		
7	8	9

1：乾杯の音頭を取る、関東トカラ会会長前田一男さん
2～8：会場の様子。島ごとの席に分かれ、食事と会話を楽しんでいました。
9：参加者代表、来賓による鏡割りの様子。

村文化祭終了後、同会場にて「第10回トカラふるさと会総会及び懇親会」が開催されました。

来賓、島民、出身者等、合計273名での懇親会は、大いに盛り上がりました。島民の皆さんや出身者の皆さんがこのように一同に会する機会はその多くはないため、貴重な時間を過ごせたのではないかと思います。



Program② 中之島：御岳太鼓

中之島御岳太鼓は、平成 20 年に発足しました。全校児童生徒で絶えず曲の練習をしています。子どもたちの力強い演奏は圧巻でした。



Program③ 諏訪之瀬島：八月踊り

数々の踊りを総称して八月踊りといいます。この踊りは、太鼓のリズムに合わせ、住民総出で踊ります。テンポ良く皆で楽しく踊っていました。



Program④ 平島：カセダウチ（福德神）

カセダウチは、豊作や無病息災を祈って行われてきた伝統行事です。各家庭の移動途中に、子どもは福德神に水をかけ、福德神は子どもに炭を塗ります。物々しい雰囲気は他を圧倒します。



Program⑤ 悪石島：ボゼ祭り

旧暦の7月7日から16日の間に、盆踊りが行われます。お盆の最後で仮面神のボゼが現れ、お盆の幕引きをします。貫禄ある立ち振る舞いは、今年も観客を沸かせていました。



Program⑥ 小宝島：としま今昔

十島丸はいつ来るのかわからない不定期航路の時代。この時代にストン節の替え歌が宴会の席を盛り上げました。当時の情景が目の前に浮かぶような演奏でした。



Program⑦ 口之島：狂言、盆踊り

口之島盆踊りは、踊りの中に狂言が組み込まれ、400年以上前から口頭だけで継承されてきています。迫力ある盆踊りと狂言は、今回の祭典を締めくくるのに相応しい演目でした。

第12回 トカラ列島 島めぐり



マラソン大会が開催されました！

10月13日（土）に第12回トカラ列島島めぐりマラソン大会が開催されました。

当日は天候にも恵まれ、全国各地から集まった140名のランナーが十島村の自然豊かな24kmのコースを力いっぱい走りました。

本大会特有の起伏の激しいコースにも果敢に挑み、住民の方々の熱い声援も相まって、参加者は無事走破することができました。

競技後には、宝島の前籠漁港で交流会を開催し、表彰式や、宝島住民によるスティールパンバンドの演奏、島々の食材を使ったバイキング料理など、島の「おもてなし」で大いに賑わいました。



▲交流会の様子。大いに盛り上がりました。

表彰・記録

【個人の部】

《男性》

順位	都道府県	氏名	レコード
1位	鹿児島県	富田 繁生さん	1時間27分56秒
2位	十島村	片野田 隆紀さん	1時間28分14秒
3位	愛知県	太田 峻さん	1時間37分36秒

《女性》

順位	都道府県	氏名	レコード
1位	静岡県	齋藤 明日佳さん	1時間47分46秒
2位	福岡県	和栗 百恵さん	2時間01分52秒
3位	兵庫県	藤田 早苗さん	2時間12分07秒

【チームの部】

順位	チーム名（都道府県）	レコード
1位	トカラBOYS（鹿児島県）	1時間43分04秒
2位	サンシャイン（十島村）	1時間45分05秒
3位	ありがとう！ガスおじさんII（福岡県）	1時間47分42秒

遠くから来てくれてありがとう賞 宮城県 岡崎 淳一さん

パフォーマンス賞

蟹江 詩徳 さん
栄羽 武史 さん
それゆけ！トカラ
です！



▲「です！です！」の田上真澄選手、受賞後のパフォーマンスの様子。
◀それゆけ！トカラの皆さん。諏訪之瀬島飛行場にてハイチース。



▶白熱した首位争いの様子。

▶タカラマリンキッズが参加者をもてなしました。



▲小宝島中学校3年有馬蓮くんの選手宣誓の様子。

また、帰りの上り便では、島毎に住民の皆様や小中学生による見送りもしていただき、最後まで、マラソン大会を盛り上げていただきました。

新船就航初めてのマラソン大会となった12回目のマラソン大会に携わられた参加者をはじめ、住民、スタッフの皆様におかれましては、今大会の成功に係る御準備、御協力をありがとうございました。

今大会も参加者の心に残る素晴らしい大会となりました。

平成30年11月17日から18日の2日間、東京の池袋サンシャインシティ文化会館で開催されたアイランダー2018に今回も参加しました。

「アイランダー」とは島で生活する人、島を愛する人、島の発展を応援する人という意味合いのもとに、離島地域の活性化を図る目的で行われる、全国の離島が一同に会する年に一度のイベントです。

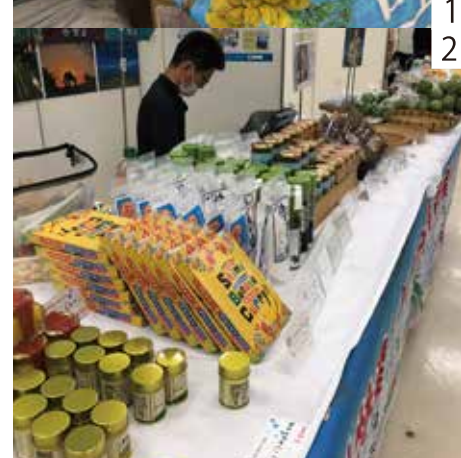
今回は、4つの島外団体を含む84ブースが出展し、約200の島が参加し、各離島のPRはもちろんのこと、特産品の販売やリターナーのための情報発信など、積極的な周知活動を行い、この2日間で約1万3千人の来場がありました。

本村からは役場から6名の職員、トカラインターフェイスから2名、中之島から1名の計9名が参加し、特産品の販売、観光案内や定住相談を行いました。

今回のアイランダーでも来場者の方々にアンケートに回答していただき、本村に対するイメージや移住・定住に向けたアドバイスなど、多くの貴重な意見をいただきました。

これらの意見を参考に今後の観光振興、交流人口拡大に向けた取り組みの更なる促進に努めていきたいと思います。

- ①定住相談の様子。来場者には懇切丁寧な説明を心掛けました。
- ②十島村特産品。特にスイーツプリングなどの農産物が人気でした。
- ③十島村のブースの様子。



トカラのめぐみ味わいフェスタが開催されました！

平成30年12月2日（日）に天文館ベルク広場（山形屋隣）で十島村の農林水産物をPRする「トカラのめぐみ味わいフェスタ」が開催されました。

このイベントは、十島村で採れた農林水産物を県内の方々に広くPRするために平成25年度に開催された農林水産祭りを皮切りに継続して開催し、今年で6回目となります。

当日は、トカラ結プラザ、トカラふるさと会の方々を中心に、一般社団法人宝島から「はなみ丸商店」、中之島から「株式会社うおのやまぐち」さんなど、十島村の農林水産物の特産品販売に携わる方々に御協力いただきました。

また、各島の食生活改善推進員の方々の御協力もあり、十島村で採れた農林水産物の大試食会を開催し、田芋の味噌煮、シビステーキ、飛魚鉄板焼、島バナナカレー、スイーツプリングなど、十島村の魅力が沢山詰まった料理を提供しました。

当日は、概ね400名のお客様に御来場いただき、今後の十島村の交流人口の拡大、観光客誘致へのきっかけとなる良いイベントになりました。



- ①十島村特産品販売ブースには多くのお客さんが来られました。
- ②開会は副村長の挨拶から始まりました。
- ③大試食会の様子。試食ブースには長蛇の列が。

十島村地方創生効果検証検討委員会が開催されました

平成30年11月9日（金）、役場本庁会議室にて「十島村地方創生効果検証検討委員会」が開催されました。委員6名、オブザーバー7名、事務局等5名の総勢18名が参加し、昨年度実施した地方創生拠点整備交付金（十島村悪石島及び小宝島多世代交流・地域連携施設整備計画）及び地方創生応援税制（企業版ふるさと納税）の2つの事業についての効果検証を実施致しました。

これは、事業実施後に有識者等からその事業の効果について評価や意見をいただき、次の事業に反映させる目的で開催したもので、2事業とも地方創生に相当程度効果があったという意見をいただいております。



日本財団の支援を受けて製作されたコンテナには、日本財団のマークや名前が表示してあります。

（公財）九州運輸振興センターより、冷凍コンテナ（2基）を御提供いただきました！

平成30年10月22日（月）、鹿児島新港旅客待合所にて冷凍コンテナの引渡式が開催されました。九州運輸振興センターは30年以上にわたり、日本財団の支援と助成を受けて、離島航路向けに冷凍・冷蔵コンテナを製作、提供しています。これは離島住民への生鮮食品や冷凍・冷蔵食品の安定的な輸送確保の支援等を目的としたもので、これまでも本村は冷凍コンテナの提供を受けており、今年も2基ご提供いただきました。

軽度認知障害(MCI)の状態でも…

<運動と認知機能トレーニングを同時に行って回復を!!>

認知機能の維持・向上が期待される有酸素運動ですが、脳を一緒に使うことで、より効果が見込めます。まずは、取り入れやすいウォーキング+αで認知症予防を目指しましょう。



方法

- ウォーキングしながらしりとりをします。3人以上で行うときには、前の2人分の答えを言う(2人前しりとり)などバリエーションを工夫しましょう。「前の前の人の言葉」、「前の人の言葉」、「自分の言葉」を言います。
- しりとり以外に、「計算」「川柳」等組み合わせても。

効果を上げるポイントは？

- 短い時間でも毎日行う
- 「少しきつい」くらいがちょうどいい
→ 体の負荷は脈拍数 120 拍程度、頭の負荷は時々間違えてしまうくらいの課題がよいでしょう。
- 複数のトレーニングと組み合わせて
→ 筋トレやストレッチなどを組み合わせるとよいでしょう。
- 運動と認知課題、両方に注意を向けて
→ どちらか一方に集中しすぎないようにしましょう。

※決して無理はせず、徐々に体を慣らしましょう。水やスポーツ飲料などで水分を小まめに補給しましょう。

～認知症を遠ざける生活習慣～

日常生活では以下のことにも注意しましょう。

食生活

必要な栄養をバランスよく摂るためには、一汁三菜を意識して用意。特に青魚や乳製品は積極的に摂りましょう。



お付き合い

人との交流が脳を刺激すると同時に、楽しみや生きがいにつながります。できるだけ外出を。



睡眠

しっかり睡眠をとりましょう。そして朝起きたら太陽の光を浴び、メリハリのある一日のスタートを。



～認知症とは～

以前できていたことができなくなり、日常生活や社会生活に支障をきたした状態のことを指します。さまざまな原因で脳の細胞が死ぬ、または働きが悪くなることによって、記憶・判断力の障害などが起こります。

認知症は、老化によるもの忘れとは異なります。物忘れの自覚がなかったりする場合は、認知症の可能性もあります。

十島村は、認知症になっても「住み慣れた島でいつまでも暮らすことが出来る」を目指します。



<介護予防は認知症予防にもなる!>

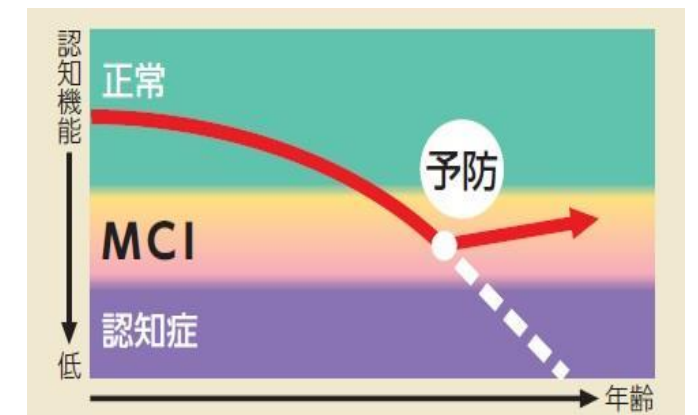
介護が必要になるのを防ぐには、元気なうちからの取り組みが大切です。いつまでも、住み慣れた島で暮らすために、「介護予防」に取り組みましょう。

実は、**介護が必要となる原因の第1位***は、**認知症**とされています。つまり、介護が必要となる状態を防ぐことは、認知症予防にもつながるのです。(*平成28年度国民生活基礎調査)

<早い段階から認知症を予防>

認知症になる一歩手前に、「軽度認知障害(MCI)」という認知症予備群の段階があります。MCIとは、認知症ではないけれど、加齢による衰え以上に認知機能の低下がみられる状態です。MCIの人の約半数が5年以内に認知症を発症すると言われていますが、この段階で生活習慣の改善など予防に取り組むと認知機能の低下にブレーキがかかり、認知症への進行を食い止めることに繋がります。

脳と体を同時に鍛えることは、このMCIの時期に有用と考えられています。毎日の習慣にしましょう。



<認知機能低下のイメージ>

<歳のせいだけじゃない?>

日常生活には、それほど大きな支障はきたしてなくても、次のような気になることはありませんか? チェックの多い人は軽度認知障害(MCI)の可能性もあります。

☐ 他の同年代の人と比べて、もの忘れの程度が強い

☐ もの忘れが多いという自覚がある

☐ もの忘れがなくても、認知機能の障害が1つある

※認知機能の障害とは、言葉が出てこない、人の顔や物の大きさなど正しく認識できない、計画を立てて実行することができないなど

こんなサイン
ありませんか?



諏訪之瀬島火山避難訓練を実施しました！

11月6日（火）に諏訪之瀬島御岳の大規模噴火を想定した島外脱出訓練を開催しました。

訓練では、自主防災会と消防団が中心となり、住民の避難誘導や役場との情報共有を行いました。今年度の訓練では、奄美海上保安部・瀬戸内警察署・奄美警察署・大島地区消防組合・航空自衛隊南西方面隊に協力を頂き巡視船（かいもん）による海上からの避難に加え、航空機（CH-47）による空路からの島外脱出を行い実践的な訓練を開催しました。



小島島で現地指導会を開催しました！
10月9日（火）に鹿児島県消防協会鹿児島支部による現地指導会を開催しました。
鹿児島市消防局より2名、鹿児島消防団より2名の講師を招き消防団としての基本動作やAEDを用いた心肺蘇生法など応急救護を指導して頂きました。



消防力向上を図り、
住民の皆様の安心・安全な生活に寄与するよう
努めてまいります！



中之島火山避難訓練を開催しました！

11月20日（火）に中之島火山避難訓練を開催しました。

訓練では、中之島御岳の噴火傾向の拡大から噴火警報レベル5発令に伴い住民の島外脱出が必要となったことを想定しフェリーとしま2での避難を想定しました。



中之島での訓練は、昨年度、鹿児島県主催の訓練を行いました但自主防災会が中心となった単独の避難訓練は初めての開催となりました。

訓練後に開催した意見交換会では、住民の避難誘導の方法、噴火時の情報手段の確保など様々な課題が出されました。

十島村選挙管理委員会委員の異動について

平成30年11月19日（月）、十島村選挙管理委員会を開催いたしました。
今回は、委員長であった前田彦雄氏（宝島）の辞職に伴う新委員長の選任及び委員補充が主な議題であり、新たな委員長には、日高正志氏（中之島）が就任いたしました。

また、1名の欠員については、越智イサ子氏（口之島）を補充し、計4名で今後の選挙執行を管理していくこととなります。



▲ 前田 彦雄氏

平成16年に十島村選挙管理委員会委員に選任され、約14年半の間、選挙の適正な執行及び管理に御尽力いただきました。本当にありがとうございました。



▲ 日高 正志氏（新委員長）

固定資産評価審査委員会

（任期：H30.10.19～H33.10.18

までの3年間）

委員長 日高 利成（平島）

委員 金森 泰二（諏訪之瀬島）

委員 津波古 雅也（悪石島）

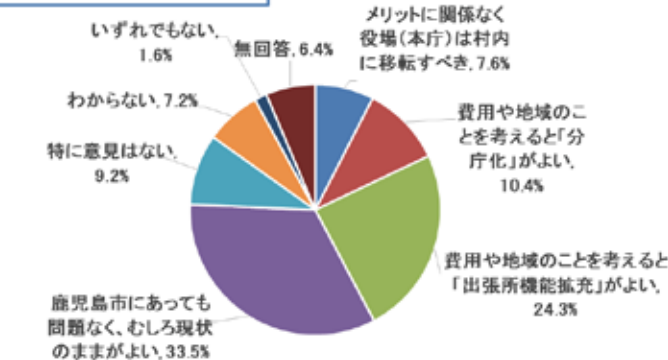
固定資産評価審査委員会とは？

固定資産評価審査委員会は、市町村に置かれる行政委員会です。その職務は、別に法律に定めるところにより、市町村長とは独立した中立的・専門的な立場から固定資産税課税台帳に登録された事項に関する不服の審査及び決定その他の事務を行うこととなります。（地方自治法第202条の2第5項）

平成30年9月議会において新たな委員が選任され、平成30年11月21日（水）に第1回目となる固定資産評価審査委員会を開催いたしました。
当日は、委員の職務内容や固定資産税の成り立ち等について研修を行い、実際に審査請求があった場合の一連の職務を確認いたしました。

固定資産評価審査委員会を開催しました

本庁舎移転について



出張所については、島ごとに状況や課題が異なることから、さらに詳細の現状を分析して、対策を整理し、平成31年度からスタートする次期行政改革大綱の実施計画及び来年度予算に可能な限り反映させていくこととしております。

10月22日に、第4回本庁舎のあり方検討委員会が開催されました。
今回の会議において、本庁舎の移転及び分庁化については検討せず、出張所機能の強化（本庁窓口と同じ時間帯で窓口を開けること及び住民が望む本庁業務の出張所への移管）などの住民サービスの向上を図っていくという結論に至りました。

「本庁在り方検討会」を開催しました

平成 31 年 4 月から産前産後期間の国民年金保険料が免除となります。

■ 免除期間

出産予定日または出産日が属する月の前月から 4 か月間の国民年金保険料が免除されます。なお、多胎妊娠の場合は、出産予定日または出産日が属する月の 3 か月前から 6 か月間の国民年金保険料が免除されます。

※出産とは、妊娠 85 日（4 か月）以上の出産をいいます。

（死産、流産、早産された方を含みます。）

■ 産前産後期間の取扱い

産前産後期間として認められた期間は、保険料を納付したのものとして老齢基礎年金の受給額に反映されます。

■ 対象者

「国民年金第 1 号被保険者」で出産日が平成 31 年 2 月 1 日以降の方

■ 届出時期

出産予定日の 6 か月前から届出可能ですので、速やかに届出ください。

※ただし、届出ができるのは平成 31 年 4 月からです。

■ 届出先

十島村役場 住民課 国民年金担当

■ 施行日

平成 31 年 4 月 1 日

平成 31 年 4 月から、日本年金機構ホームページから届出用紙をダウンロードできる予定です。また、記入の方法も併せて掲載される予定です。

日本年金機構ホームページ <https://www.nenkin.go.jp/>

また、届出の際は、以下の書類をご用意ください。

◆ 添付書類について

出産前に届出をする場合：母子健康手帳など

出産後に届出をする場合：出産日は市区町村で確認できるため原則不要
ただし、被保険者と子が別世帯の場合は、出生証明書など出産日及び親子関係を明らかにする書類

◆ 個人番号（マイナンバー）により届出を行う際の添付書類について

届出者本人が窓口で届書を提出する場合は、マイナンバーカード（個人番号カード）を提示してください。

お持ちでない場合は、以下の①及び②を提示してください。

なお、郵送で届書を提出する場合は、マイナンバーカードの表裏両面または①及び②のコピーを添付してください。

① マイナンバーが確認できる書類：通知カード、個人番号の表示がある住民票の写し

② 身元確認書類：運転免許証、パスポート、在留カードなど



第 2 回行政懇話会が

開催されました

11 月 15 日（木）、鹿児島地域振興局と第 2 回目の行政懇話会を本庁にて開催しました。
鹿児島地域振興局からは局長をはじめ、各部長や課長等の合計 15 名が出席し、村の最近の動向についての報告や「アリモドキソウムシの防除対策」及び「県立自然公園看板の全面的な更新」についての対応について意見交換を行いました。

海上保安部等意見交換会が

開催されました

平成 30 年 10 月 22 日、鹿児島港湾合同庁舎にて、鹿児島海上保安部と十島村及

び三島村の 3 機関で意見交換会を行いました。平成 30 年 8 月の台風 19 号による災害では、鹿児島海上保安部の巡視船で、災害対応要員等を搬送するなど迅速な対応で停電の復旧等に大きく貢献していただきました。

今後においても定期的に情報を共有するなど、さらに円滑な連絡体制で非常時の連携の強化を図ることとしています。

村総合教育会議が

開催されました

12 月 3 日（月）、役場 4 階会議室において、十島村総合教育会議が開催されました。

今回は、村長、教育長、教育委員 4 名の構成委員、および副村長、総務課長が出席して開催しました。

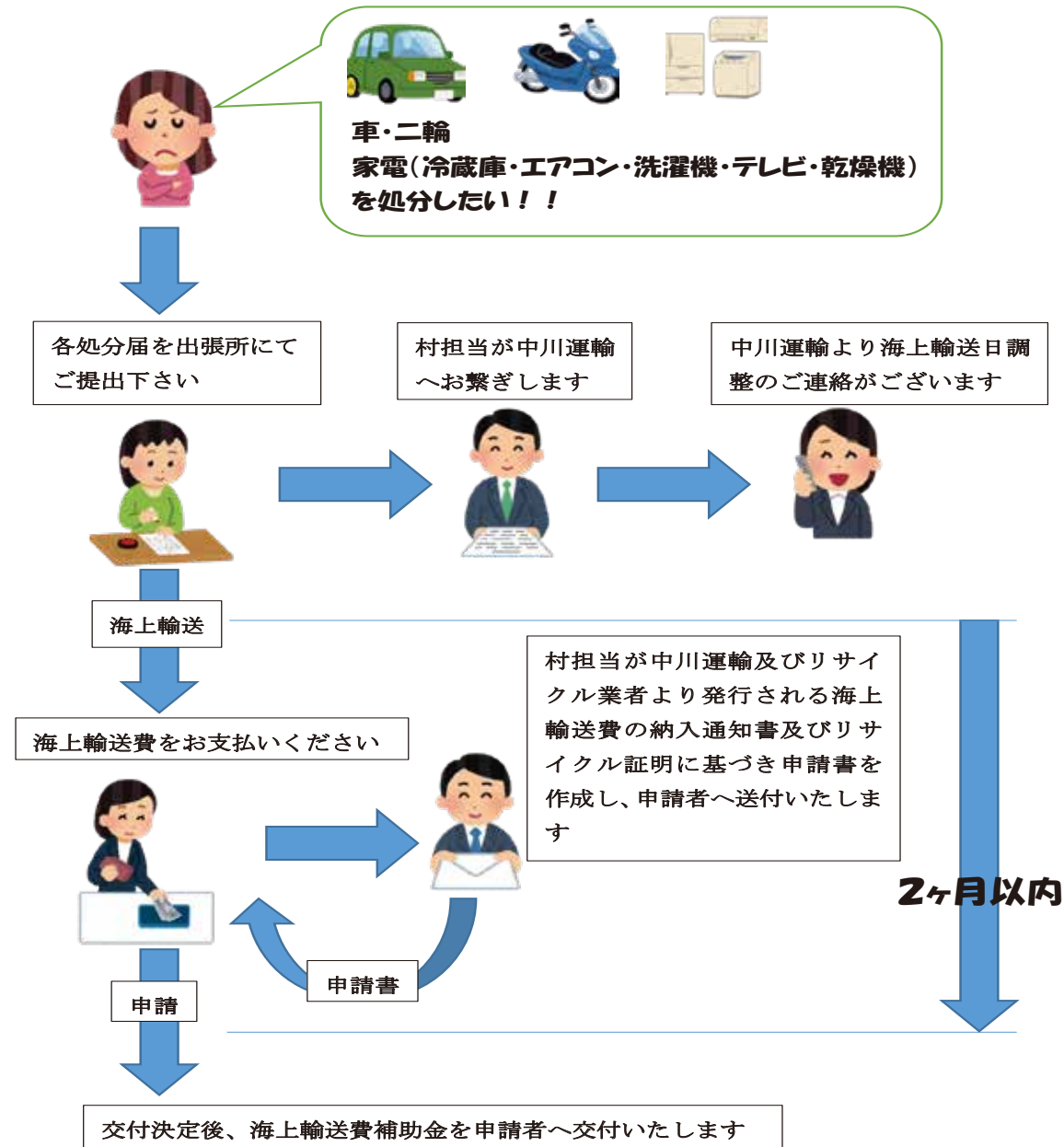
本会では、行政報告のほか、学校教育・社会教育の取組状況、施設整備や村誌追録編集の現状などの報告のほか、児童生徒数の増加対策等についての協議がなされました。

総合教育会議とは？

総合教育会議は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部改正が施行（平成 27 年 4 月）されたことに伴い開催するもので、平成 27 年 5 月に第 1 回の総合教育会議が開催され、教育大綱（十島村の教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱）を策定しております。



廃車・廃二輪・廃家電を処分の際の海上輸送の流れ



海上輸送費の支払いが遅れますと申請期限である2ヶ月を超過してしまう恐れがございます。
期限を超過した申請書については受付できませんのでご注意ください。
また申請者が指定する業者に処分を依頼する場合は、リサイクル証明等は所有者ご自身で取得
し、申請時に添付する必要があります。

自主防犯団体組織を立ち上げましょう！！

本村では、地域の防犯意識の向上を目的とし、自主防犯団体組織の立ち上げを推奨
しており、各自主防犯団体組織への備品及び消耗品等への補助を行っております。

各島自主防犯団体組織を立ち上げ、ぜひご活用ください！！

補助対象経費	補助額
自主防犯団体活動に必要と認められる経費 例：たすき、腕章、帽子、マグネット、防犯灯等の備 品及び消耗品	予算により村長が定める額



生ごみ堆肥化容器設置費補助金のご案内



村ではごみ減量運動の一環として、家庭生ゴミの自家処理を促進するため、
生ゴミ堆肥化容器（コンポスト）を設置する方に対して予算の範囲で補助金を
交付しています。

交付対象要件

- ・村内に住所を有していること
- ・容器を設置できる敷地を有していること
（設置場所は近隣住民のことを考えて設置して下さい。）
- ・容器を適正に維持管理できること
- ・堆肥化された生ゴミを自家処理できること

補助の要件等

- ・容量100リットル以上の蓋付の容器の購入。
- ・原則、1世帯につき1基までとなります。
- ・購入価格の2分の1以内で上限5,000円。
- ・購入したことが分かる領収書の添付が必要。

生ゴミ堆肥化容器設置補助金交付に関するくわしいお問い合わせは
住民課村民室村民係までお問い合わせください。



生ごみの出し方について

※ 水切りの徹底をお願いします。

生ごみは焼却炉で焼却しません。



よく水を絞って水をお切りください



村指定のごみ箱でお出してください



生ごみの大部分は水分だといわれています。
生ごみ処理機で処理する際にも生ごみから出る水分で処理時
間・燃料費・光熱費の増加につながります。
また、焼却炉で焼却しますと炉内の温度が高温となり、炉内の耐
火煉瓦の損傷が早く、修繕費等の維持費が高むとともに長期的な利
用ができなくなってしまう恐れがあります。
住民の皆様には、ご理解の上、生ごみの水切りにご協力をお願い
いたします。



祝 たいらっこ園 開園・入園式



平島小中学生による太鼓「歓喜」



↑ 記念のテープカット



にゅえんおめでとう

たいらっこ園
第1号入園児！



来年3月入園です♪



十島村7つ目の平島子育て支援拠点施設「たいらっこ園」が11月17日開園しました。高齢者から小中学生まで40人以上の多くの地域の方々に見守られ、和やかな雰囲気の中式典が行われました。開園入園式に先立ち辞令交付式が行われ、副園長（平島小中学校長）と保育補助員2名に村長から辞令が手渡されました。テープカットの後、村長（園長）あいさつに始まり、議長（出張所長代読）・自治会長・教育長先生からあたたかいお祝いの言葉をいただきました。

村では2015年から子育て支援施設の整備を進め、今回のたいらっこ園開園を最後に有人7島全てに保育施設ができました。施設は平島小中学校の敷地内に新設され、これからは学校とも連携していきます。安心して子育てのできる環境が整うことで、島に人を呼び込むことに繋がると期待されます。

今後、島の唯一の子育て支援施設として充実した運営ができますよう、住民の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。

フェリーとしま2 名瀬2泊便の減便について（平成31年1月～）



※平成31年4月以降の年間運航計画は、1月中に公開の予定です。

例年、月曜日が祝日となる日の直前の金曜日出港便については名瀬2泊便としておりましたが、利用実績等を鑑み、平成31年1月からは9月・10月の一部の便を除き、名瀬2泊便を取り止め、日曜日入港となる通常便へ変更いたします。
ご理解のほど、よろしくお願い申し上げます。

火災に注意しましょう！



冬時期は、非常に空気が乾燥し火災が発生しやすくなっています。

また、年末年始など暖房機器を利用することが多くなるため、火災には十分に注意する必要があります。無火災で年末年始を過ごすために以下の点を心がけましょう！

家庭での注意事項・・・

- (1) 外出時や寝る前は、必ず火の元を確認しましょう。
- (2) 暖房機器など火の元の原因となるものは、定期的に点検しましょう。
- (3) 子どもの火遊びに注意しましょう。

平成30年度年末年始の交通事故防止運動！

平成30年12月10日（月）～平成31年1月10日（木）

スローガンは、

『**年末年始 マナーアップで 事故防止**』です！

- 早朝、夕暮れ時、夜間における交通事故防止
- 飲酒運転の根絶
- 後部座席を含めた全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底



十島村教育長が再任いたしました！



有村 孝一 教育長

プロフィール

昭和 28 年 1 月 11 日生まれ。
65 歳。鹿児島大学教育学部を卒業し教諭となった後、平成元年から 3 年間、十島村教育委員会に赴任。県内小学校の教頭・校長を務めた後、平成 26 年 8 月に教育長に任命され、平成 30 年 12 月 19 日付けで再任となる。

今回、教育長へ再任されましたことは、大変光栄に思っているところです。

これまで、諏訪之瀬島分校及び小宝島分校の本校への昇格、30 年ぶりに中之島で開催しました村民体育大会、新船「フェリー」としま 2 就航記念 第 3 回文化の祭典セブンアイランド 2018 の 29 年ぶりの開催、来年 3 月の「村誌」の追録版の発行、小学校の集合学習の中之島での実施、中学生の村長と語る会の開催、A・L・T（英語指導助手）5 名の配置等、職員の協力を得ながら実施することが出来ました。今後は、それ等の事を基にしながら、児童生徒の学力向上などに向けて、これまで以上に方策を練っていききたいと思っています。

ところで、村は人口対策を一番の課題に掲げ、人口減少の市町村が多い中におきまして、着実にその実績を挙げつつあります。教育委員会なりにどのような対応ができるのかを考えて仕事を進めていきたいと思っています。

これからも、教育委員会としてやらなくてはならないことは多くあります。それらの事を一つ一つ着実に実践していこうと思います。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。



地域おこし協力隊（商工）
てらもと ふみと
寺本 文人 さん

9 月 5 日より宝島に地域おこし協力隊として、島根県松江市から移住してきました、寺本文人です。

前職は、青年海外協力隊として海外で 3 年間、聴覚障害児を対象に、手話の授業を行っていました。今年の春に帰国し宝島の求人を見つけ、7 月に宝島へ行った時の経験が移住の決め手となりました。

移住して 3 ヶ月が経ち、販売店での勤務にも少しずつ慣れてきました。今後は島で経験できる様々な事にチャレンジしていきたいです。よろしくお願いいたします。

趣味は読書とヨガです。それとフットサルも好きです。よろしくお願いいたします。

New Face!!

新人職員を紹介します！



十島村から陸上自衛隊へ入隊！



宝島に在住していた中村繁幸氏がこのたび自衛官候補生として入校しました。平成 30 年 10 月 1 日より自衛官候補の応募資格が 33 歳に引き上げられましたが、引き上げ後、県内で初の 30 代での入校となりました。

肥後正司村長から、「国民を守る一員として社会に貢献してほしい」と激励の言葉が送られました。



◀ 左から 3 番目が中村繁幸氏

十島っ子の様子

宝島いまさら園

宝の夢文化祭
テーマ「たからじま」



親子「災害時のバッククッキング」



敬老祝賀会 合奏 ♪メリーさんのひつじ♪



口之島くちっこ園



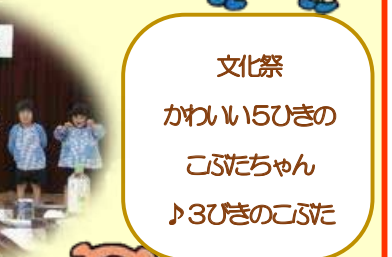
文化祭「ドレミのうた」「劇：伝説のたもとユリをみつけよう」



ハッピー・ハロウィン

中之島ほしのご園

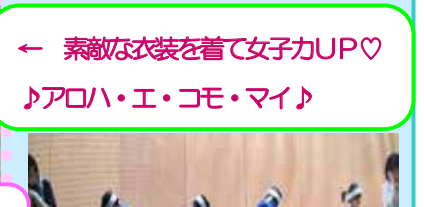
敬老会 うた「南の島のハメハメハ大王」



文化祭
かわいい 15 ひきの
こぶたちゃん
♪ 3 ひきのこぶた



諏訪之瀬島すわっこ園



← 素敵な衣装を着て女子力 UP ♡
♪アロハ・エ・コモ・マイ♪

文化祭で日舞？ →
「村祭り」を踊りました



節代先生の親子サロン

悪石島のびっこ園



学習発表会



おいもほり



小宝島こだから園



親子クッキング＜ピザパン＞

ふたりなかよし

文化祭 ♪犬のおまわりさん



村営定期船 フェリーとしま2 鹿児島 ↔ 十島村 ↔ 名瀬

平成 31 年 1 月運行予定



十島村 土木交通課 航路対策室
TEL : 099-222-2101
フェリーとしま 2
TEL : 090-3022-4523



日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
曜	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
予 定		入		出		入	出		入		出		入	出		入		出		入	出		入		出		入	出		入	
便 区 分				名瀬便			名瀬便				名瀬便			名瀬便				名瀬便			名瀬便				名瀬便			名瀬便			

手荷物・小荷物は島間の場合でも受付をお願いいたします！

島から島へ荷物を送付する場合でも、手荷物・小荷物の受付が必要です。

また、船内に持ち込める手回り品（旅客が自ら携帯又は同伴して船室に持ち込む物）は 3 辺の長さの和が 2 メートル以下で、かつ、重量が 3 0 キログラム以下の物品（2 個まで）に限られます。（※生動物は持込不可等例外あり）

手回り品に該当しない品の船内への持込は他のお客様へのご迷惑となりますので、手荷物・小荷物の手続きを必ず行うようにしてください。

皆様のご協力をよろしくお願い申し上げます。

十島村の人口・世帯数 平成 30 年 11 月 30 日現在

島 名	男性	女性	人口	世帯
口 之 島	67	62	129	74
中 之 島	89	73	162	93
諏訪之瀬島	28	28	56	27
平 島	42	36	78	43
悪 石 島	43	38	81	36
小 宝 島	28	23	51	32
宝 島	65	67	132	71
合 計	362	327	689	376

広報としまへの広告掲載募集！

- 広告の規格・掲載料（すべて消費税別）
 - 縦 13.0cm × 横 8.5cm 月額 10,000 円
 - 縦 13.0cm × 横 17.0cm 月額 15,000 円
 - A4 サイズ 1 頁 月額 30,000 円
- 広告掲載の申し込み

広報誌広告掲載申込書（第 1 号様式）に広告案を添えて総務課にご提出ください。

※申込書のダウンロードを含め、詳細は十島村 H P をご覧ください。